

ニュージーランドでは既に数件のパッシブハウスが実現しており、今回のカンファレンスではノミネートされた作品の表彰式も行われました。同国へのパッシブハウス上陸と共に、当然ながらヨーロッパのトリプルガラス入りの樹脂窓や熱交換換気装置のメーカーが進出しておりますが、メーカーはヨーロッパ仕込みの知識しか無いケースが多く、ニュージーランドの気候に精通している実務者との間に文字通りの温度差がありました。

ですから、“この気候であれば必ずしも熱交換換気が必要かどうかは分からない”、“南面の窓はペアガラスでも良い場合もある”といった私からのコメントはニュージーランドの人々にとって朗報であったようです。勿論、“南じゃなくて、北でしょ？”という突っ込みは必ず入りましたが！それからイギリスの影響を強く受けているな、と感じたのはニュージーランド人の暖炉へのこだわりでした。”暖炉の無い家なんて家じゃない！”という彼らに対して、イギリスから来たエキスパートからは“イミテーションで良いのがあるよ、クリスマスに靴下が飾れば良いんでしょ？”的なアドバイスが。建築家の私としてはイミテーション暖炉が一番恥ずかしいと思うからこそ、バイオマスストーブの給湯への使い回しを模索している訳で、そんな解決方法もご紹介しました。また、パッシブハウスではガス調理器なんか辞めてしまえ！という極論を言うパッシブハウス・コンサルタントは世界中に多いのですが、今回もそのような議論になり、“どうしたら施主にガス調理器を諦めてもらえるでしょうか？”という質疑が会場から上がった程でした。その背景として、どうも同時給排タイプのレンジフードがニュージーランドの市場に出回っていないという事があるようでしたが、

“本格的に料理をする人にガス調理器を禁ずることは無理だろう”という現実的な意見も出て私がホッとしたのもつかの間、今度は“何ををもって“本格的な料理“とするか！？”でまた意見が分かれ……。しまいには“ちなみに日本のパッシブハウスでは毎日中華鍋とか使うのか？”という話に展開して流石に私も答え方に困りました。。。

現在ニュージーランドで実現しているパッシブハウスの大半は木造のパネル工法であるため、基礎断熱の防蟻の話を私から持ち出してみたところ、実はシロアリはニュージーランドには生息していないそうで、オーストラリア人だけが反応しておりました（ヨーロッパ人には相変わらずちんぷんかんぷんな話題です！）。カンファレンス2日目の最後には南極に建つパッシブハウス、エリザベス基地からの生中継が実現、来年の開催地はオーストラリアのメルボルンというところまで決まって、和やかな2日間のカンファレンスが幕を閉じました。常夏の南半球でしたので、北向きの窓の日射遮蔽の重要性を体感出来ただけでなく、今回沢山の方と意見交換をして気づいたのは、パッシブハウス・ジャパンのイベントで集まる日本の実務者の議論のレベルが如何に高いかということ！そしてその結果、パッシブハウスの概念という異物はあつという間に日本仕様に咀嚼され、吸収されてしまったということでした！

そんな訳で若干の優越感を感じられるという意味で収穫の多かったカンファレンス参加となりましたが、帰りの飛行機の中、たまたまディズニーの最新作、ベイマックスを鑑賞しました。兄を失った主人公のヒロは犯人を突き止め、一時は犯人の命をも奪おうとしましたが、仲間たちに支えられ、人を決して傷つけないことを誓

って引き続き戦うというストーリー（あくまでも私の勝手な要約）ですが、正義や復讐のためには戦争や人殺しが正当化されそうな今という時代に、このヒロと仲間たちのカッコ良さを多くの子供たちに見せたいと心底感じました。また、若い科学者たちによる善意の発明が悪用され、人の命よりも一部の人の利権や報復行動に利用されそうになるのを阻止したのもやはり善意の科学者たちのアクションであったというストーリー、暴走し悪用されている感のある日本の原子力技術を思わずにはいられませんでした。これは私の個人的感想ですが、皆さんも是非親子でベイマックスを観に行かれてはいかがでしょうか？早いものでもうじき東日本大震災から丸4年。今日からはドイツのメルケル首相が来日しておりますが、“原子力政策に関して、日本にもドイツと同じ道を歩んでほしい”というメルケル首相の想いに、私たちは何時か答えることができるのでしょうか？来る3月20日のPHJ5周年記念大会では映画”日本と原発“を自主上映いたします。

日本人として絶対に目を背けてはいけない問題ですので、沢山の方のご参加をお待ちしております。

藤枝・静岡文化財めぐり

2015年03月10日

平成27年3月7日（土）

午前9時30分集合から午後3時解散

参加者 一般19名、藤枝市市民文化財課
2名、志太建築士会5名

天候の関係で14名のキャンセルがありました。

宇都ノ谷峠 坂下地藏堂 蘿徑記碑（らけいきひ）



明治宇津ノ谷隧道



宇津ノ谷集落 セガイ造り、ツシ造りの特徴がある。



お羽織屋 おばあさんに豊臣秀吉のお話を聞きました。





岡部の十石坂観音堂の厨子も見ってきました。



岡部宿大旅籠柏屋 おひな様を見ってきました。



来年は、金谷・掛川の文化財めぐりになりそうです。本多さん来年も担当をお願いします。

まちづくり委員会出席者は、本多氏、向坂氏、米山氏、三津原氏、岩倉です。

担当：岩倉

(一社)志太建築志会5周年記念講演

2015年03月19日

会員の皆様には、追って案内を発送します。

平成27年4月27日(月)

於： 大井神社 宮美殿 2階大ホール

通常総会 14時30分～16時

記念講演 16時30分～18時

懇親会 18時30分～

(一社)志太建築士会設立5周年 記念講演

主催／(一社)志太建築士会

■ 日時：平成27年4月27日(月) 16:30～18:00

■ 会場：島田 大井神社 宮美殿(島田市大井町2316) 2階

■ 受付時間：16:00より

■ 入場無料 一般の方もご聴講いただけます



講師／建築家

長谷川 逸子 氏

講演タイトル

「みんながいる

快適な場づくり」

長谷川 逸子 (はせがわ いつこ) プロフィール

建築家 静岡県焼津市出身

菊竹清訓建築設計事務所勤務、東京工業大学藤原一男研究室勤務を経て、1979年長谷川逸子・建築計画工房(株)設立、主宰となる。1986年日本文化デザイン賞、日本建築学会賞を受賞。一方、早稲田大学、東京工業大学、九州大学などの非常勤講師、米国ハーバード大学の客員教授などを務め、1997年王立英国建築協会(Royal Institute of British Architects)より名誉会員の称号、2000年第56回日本芸術院賞受賞。2001年ロンドン大学名誉学位、2006年アメリカ建築家協会(AIA)より名誉会員の称号、2008年フランス Pont d'Issy周辺の再編成コンペ1等賞獲得、2009年上海権電オフィス1等賞獲得、第7回公共建築賞(大島町絵本館)、第9回公共建築賞(新潟市民芸術文化会館)。最近の作品：ふじのくに千本フォーラム(静岡県)、権電オフィス街(上海)

(一社)志太建築士会 創立5周年にあたって

皆様のご支援をいただき、おかげさまで当会は創立5周年を迎えることが出来ました。

『共に志を繋ぐ、友との太き絆で』をテーマとし、会員が共に成長出来ることを目指して活動をしており、初年度103名の会員は、現在170名となりました。

まちづくり委員会では、市民の皆様と志太の歴史的建築物を探訪しています。TOKAI-0特別委員会では、年間約300件の耐震診断を行っており、また省エネ住宅の開発では、国交省地域型住宅ブランド化事業のグループに採択され、志太パッシブエコハウス「木漏れ陽の家」の普及に努めています。

今後とも、地域に貢献する活動を進めていますので、引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

◆お問い合わせ・参加申込み先

(一社)志太建築士会 事務局(藤枝市藤枝市田沼2丁目9-20)

・電話：054-637-9804 ・FAX：054-637-9805